

アメリカにも大企業にも、国にも県にも はっきりモノが言える日本共産党がのびてこそ 本当に政治は変わります

民主には裏切られたが、自民には戻りたくない…

党首と幹事長の「政治とカネ」はひどい、景気や暮らしが一向によくない、普天間基地撤去での許せない公約違反…。民主党の鳩山首相と小沢幹事長を辞任に追い込んだのは、期待して裏切られたみなさんの怒りです。かといって、国民の暮らしをめちゃくちゃにした自民党には戻りたくありません。アメリカにも大企業にもモノが言える党にこそ、基地問題も暮らしの問題も託せます。地方の財政難は、国・県がムダ使いを放置したまま、市町村への必要な補助金をどんどんカットしてきたためです。市民の暮らしをまもるためには、国・県にもはっきりモノを言う党が必要です。

民主党政権になり、期待が大きかった分、失望も大きい。何も期待できない。先行き不安。景気をよくするためには思い切った政策を。

(30代女性、非正規雇用)
日本共産党の市民アンケートより



埼玉県久喜市議選では、第三極の必要性を訴えて当選したみんなの党が、民主、自民両党とあっさり統一会派を組んでしまいました。市民からは怒りの声があがっています。

「第三極」というけれど…

「自民もダメ、民主もダメ」と失望する有権者に、「第三極をめざします」と次々新党が生まれています。でも、新党の旗をよく見ると「構造改革の徹底」「消費税増税」「憲法改定」など、みんな古い自民党政治を引きずっています。人物も、みんな古い自民党政治をすすめてきた人たちです。これでは「第三極」どころか、自民党政治をより悪い形で復活させることになります。

貧困なくし
平和な日本へ

政治を前にすすめる日本共産党

志位委員長が初訪米し、アメリカ政府に 普天間基地の無条件撤去を直接要求

鳩山政権は、普天間基地の移転先を沖縄の名護市辺野古沖と決めました。許せない公約違反です。

日本共産党の志位和夫委員長はこの5月、共産党の党首としては初めて訪米し、アメリカの政府と会談。普天間基地の無条件撤去を要求しました。

「これは本来、鳩山首相がやるべき役割」(徳之島の町長さん) ではないでしょうか。



企業献金受け取らない党だから、 派遣切りやめよと大企業に直接要求

民主党の派遣法改正案は抜け穴だらけと、専門家も指摘しています。大企業から献金をもらい、大企業に気がねしては雇用を守れません。

千葉県でも、茂原市にある液晶パネルを製造する日立グループの子会社の、無慈悲な非正規切り・リストラをやめさせよと県に要求し、この企業に対しても直接要求したのは日本共産党だけでした。



日本共産党の 経済成長戦略

日本はG7の中では、ただひとつ成長が止まった国になってしまいました。この間、国民の収入が5.2%も減る一方で、大企業の「内部留保」は、97年の142兆円から07年には229兆円に膨れ上がっています。この過剰な内部留保を、正社員化や下請け単価引き上げのために還元する、これが日本共産党の経済成長戦略です。

市政でも国政でも、政治を本当に変えたいという思いは

日本共産党へ